

※ 網掛けのない部分が計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入。

1 教育目標（目指す児童像含む）

（1）基本目標

人間尊重の精神に基づき、心身の発達に応じて、一人一人の特性や能力を生かし、知・徳・体の調和のとれた児童の育成をする。

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

自ら考え主体的に行動し、心豊かでたくましい児童の育成
○かしこく（進んで学ぶ子）○やさしく（思いやりのある子）○たくましく（元気でがんばる子）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

『一人一人が元気で輝く学校を』

～ 活力、潤い、信頼のある学校づくり ～

子供のよりよい成長のためには、学校・家庭・地域が連携・協力することが不可欠である。

本校は、常に子供を中心に据え、子供の視点に立ち、どの子にも夢とやる気と自信を育む教育を実践するために、子供一人一人の個性や能力を生かす活力あふれる学校、思いやりの心を持つ潤いのある学校、教職員の特性と創造性を生かし保護者・地域から信頼される学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- (1) 個に応じたきめ細かな指導で、基礎・基本の確実な定着を図り、確かな学力をつけるために、学習指導の一層の充実に努める。 【学習指導の充実】
- (2) 児童一人一人の個性や能力を理解・受容し、そのよさや可能性の伸長や、豊かな人間性の育成に努める。 【児童指導の充実】
- (3) 児童の健康意識の高揚と健康の保持増進、体力の増強、及び安全に対する基本的な生活習慣の形成に努める。 【健康安全指導の充実】
- (4) 学校や地域の実態を生かし、児童が生き生きと取り組める活動の推進を図り、教職員の創意工夫を生かして、特色ある学校づくりの充実に発展に努める。 【特色ある学校づくりの推進】
- (5) 家庭や地域との緊密な連携をもとに、学校教育に対する理解と協力を得ながら、保護者や地域に信頼される開かれた学校づくりに努める。 【信頼される学校づくりの推進】
- (6) ○持続可能な小中一貫教育の推進を目指すとともに、各部会の取り組みを活性化させ、9年間を通した教育実践に務める。 【小中一貫教育の推進】

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※地域学校園内で共通する目標は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学 校 運 営】

家庭・地域との連携・協力による開かれた学校づくりの推進

【学 習 指 導】

○基礎・基本の定着と表現力の育成

～ 学習態度や学習技能を育てる指導の充実を基盤として ～

【道徳教育（児童生徒指導）】

自ら考え、正しく判断し、主体的に行動できる児童の育成

【健康（保健安全・食育）・体力】

健康に留意し、目標に向かって意欲的に運動する児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

項目	評価項目	主な具体的な取組 方向性：A拡充、B継続、C縮小	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートA1「私は今の学校が好きです。」 →児童の肯定的回答 90%以上	① 体験的な活動を取り入れたり、教育機器等を有効に活用したりして、児童の学習意欲を高める授業の工夫をする。 ② 学校行事に児童が自主的・主体的に取り組む場面を設定し、教師が適切な指導・支援・助言をする	B	【達成状況】 児童の肯定的回答は 95.2%で、目標値を上回った。 ① 教育機器やデジタル教科書などを積極的に活用したり、体験的な活動を多く取り入れたりして、児童が興味・関心をもって取り組むことができるような授業の展開に努めた。 ② 学校行事の事前・事中・事後の場面ごとに、児童が具体的な自分のめあてを立てて自主的に取り組めるよう、計画段階から適切な指導、支援がなされるように立案し、全教職員が共通理解のもと実施した。 【次年度の方針】 ① 今後も継続して、効果的な教育機器の活用や体験的な活動の実践を行う。 ② 児童の実態や発達の段階に応じた具体的な指導と展開の工夫を進めることで、児童の学習意欲を高めていく。
	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケートA2「先生方は大切なことを熱心に指導してくれる。」 →児童の肯定的回答 90%以上	学校課題（基礎・基本の定着と表現力の育成）に向け、継続して協働体制による研究を進め、授業力の向上を図る。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答は 99.3%で、目標値を上回った。 授業のめあてを提示し、体験的活動や教育機器の活用による「分かる授業」の展開に努めた。また、河内学校園共通の「自主学習の手引き」を作成し、それを基に児童と保護者に向けて家庭学習に関する啓発を図った。 【次年度の方針】 単元や各時間のねらいにそった「分かる授業」を展開するため、教材研究を行い指導方法の工夫に努める。また、引き続き、<u>宿題や自主学習等</u>、家庭学習に関する啓発を行う。
	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートA3「児童は授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。」 →児童の肯定的回答 85%以上	集団と個の両面から一人一人の児童の特性を適切に把握し、ふれあいとルールの確立を目指した学級づくりに努める。 ・ 「岡本小のよい子の約束」「岡本小のめあて」「すこやか河内学校園のきまり」の指導の充実 ・ 月毎の児童指導の重点の確認・実践 ・ 児童指導だよりでの啓発	B	【達成状況】 児童の肯定的回答は 85.5%で、目標値を上回った。「岡本小の生活のきまり」、「すこやか河内学校園のきまり」を学期の始めに意識させ、また月毎の児童指導の重点を明示した。教職員が共通理解のもと指導に取り組んできたことの効果が現れてきている。 【次年度の方針】 基本的な生活習慣を含め児童指導において方針・基準を明確にし、これまで同様、同一歩調で機会を見逃さず指導する。<u>学級活動や道徳の時間も活用して、児童のよいところを認めながら、規範意識を高めていく。</u>また、定期的に情報交換を行い、児童の様子や指導について確認し、対応が必要なケースについては協議し策を講じる。

A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート A4「教職員は分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」 →教職員の肯定的回答90%以上	① 教材研究を十分に行い、明確な課題提示や発問、学び合い活動やていねいな机間指導により、分かる授業を展開する。 ・ 教材の整備・共有 ・ 授業についての意見交換 ② T.Tや少人数での指導を効果的に行うとともに、児童の実態に応じたきめ細かな指導を工夫する。 ・ 単元や学習内容に応じた学習形態の工夫 ・ 「朝のパワーアップ学習会」の計画的実施	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答は100%で、目標値を上回った。 ① 学年やブロックで連携して ICT 教材を中心に整備し有効に活用したり、よりよい授業が展開できるよう教材研究に努めたりした。 ② 児童の実態把握にもとづき個に応じた指導ができた。 【次年度の方針】 ① 教材や授業に関する情報共有や意見交換を密にし、教材研究や授業準備がより効率的・効果的に行えるよう計画・実施する。 ② 現在の指導体制を継続し、単元や学習内容に応じて、少人数指導や習熟度別学習、T.Tによる指導を適宜取り入れた学習形態を工夫する。
A5 教職員は、いじめが許されない行為であること指導している。 【数値指標】 全体アンケート A5「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる。」 →保護者の肯定的回答75%以上	普段から安心して相談できる、教職員と児童との関係づくりに努める。 ・ いじめに関するアンケート ・ 教育相談の実施 ・ 「思いやり」や「協力」に関する道德の授業の公開 ・ 人権週間の設定 ・ 児童指導だよりの啓発	B 【達成状況】 保護者の肯定的回答は70.0%で、目標値を下回った。 年2回いじめに関するアンケートと教育相談を実施し、細かな実態把握に基づく具体的な対応や未然防止に努めた。最近のニュースから、いじめの対応の仕方に関心が高いことが伺える。 【次年度の方針】 ① 次年度も、いじめに関するアンケートと教育相談を毎学期実施し、実態把握と未然防止に努める。また、<u>児童が主体となっていじめについて考え、全校で取り組む活動や場を工夫する。さらに、授業参観の際に、アンケートの結果等いじめに関する内容について知らせていく。</u> ② 人権教育の観点から、「きまりやルールを守ること」「思いやりの心」を育てることを重視して指導に当たるとともに、<u>言語環境を整える</u>など、学校全体で取り組む。
A6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケート A6「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている。」 →教職員の肯定的回答90%以上	昨年度の反省をもとに、日課、授業、学校行事等を適切に実施する。行事終了後に評価を行い、改善策をまとめて次年度の計画を立てる。	B 【達成状況】 学校行事等の改善に努めた結果、教職員の肯定的回答は100.0%で、目標値を上回った。また、保護者の肯定的回答も97.5%と高かった。 【次年度の方針】 実施状況や日課変更による影響・効果等について、今年度の取り組みを十分検討し、よりよい教育課程となるよう日課や行事の見直しを行い、今後も適切に実施されるように努めていく。

A7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 全体アンケートA7「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している。」 →保護者の肯定的回答90%以上	① 「オープンスクール」を含め学期に2回以上学校公開を実施する。 (ギネス活動・音楽集会等も含む) ② 学校だより・学年だより等やホームページによる情報の公開・発信をする。 ・ 学校だより・学年だより・保健だより・食育だより・図書だより：月1回発行 ・ HPの更新：1か月に1回以上	B 【達成状況】 保護者の肯定的回答は99.0%で、目標値を大きく上回った。 ① 土曜授業(年2回)、全校ギネス、音楽集会(年2回)を公開した。公開日の様子から、本校の教育活動・児童の学校生活への関心の高さがうかがえる。 ② 各種たよりを定期的に発行した。ホームページにも行事の様子等を掲載し、学校の様々な情報をタイムリーに発信した。 【次年度の方針】 ① 学校公開の時期、内容・方法等について検討し、今後も「開かれた学校づくり」を推進していく。 ② 今後も各種たよりやホームページによる情報発信を継続し、内容を充実させる。
A8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケートA8「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 →保護者の肯定的回答80%以上	① 街の先生・学校支援ボランティアと連携した授業や活動を計画的に実施する。 ② 昨年度の取組・課題を生かし、岡本小地域協議会を核にした教育活動支援の円滑な実施と有効活用に努め、学校運営の充実を図る。	B 【達成状況】 保護者の肯定的回答は88.4%で、目標値を上回ったが、昨年度に比べ3.5%下回った。 ① 街の先生・学校支援ボランティア等と連携した授業や活動を計画的に実施した。 ② 「岡本小地域協議会」を年3回開催し、情報共有・協働に努めた。昨年度に引き続き、自治会の協力により「清岡苑」の維持や、教育支援活動が充実してきている。 【次年度の方針】 ① 街の先生、学校支援ボランティア等の活動を教育課程に位置づけ、効果的に実施する。 ② 家庭・地域と連携した取組の様子がみえづらいアンケート結果を踏まえ、より地域へ伝わるよう情報発信を行い、岡本小地域協議会を核にした教育活動支援の円滑な実施と有効活用に努める。
A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケートA9「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である。」 →保護者の肯定的回答80%以上	① 清掃の仕方や用具の使い方を教えたり、率先して清掃を行ったりして、清掃指導の充実と施設・設備の維持管理に努める。 ② 学習への意欲・関心が高まるよう、教室環境を整えたり、校内掲示を工夫したりする。	B 【達成状況】 保護者の肯定的回答は95.9%と、目標値を大きく上回った。 ① 教職員が率先して清掃を行うとともに、日ごろの清掃指導を丁寧に行ってきた。 ② 学習内容や行事に合わせた掲示物を充実させてきた。 【次年度の方針】 ① 引き続き日課や行事の見直しを行い、清掃時間を確保する。また、清掃の仕方を具体的に示し、指導を丁寧に行うことで、児童の意識を高める。 ② 学習への意欲・関心が高まるように掲示物等を工夫する。

		A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている」 →保護者の肯定的回答 90%以上	① <u>地域学校園研修や各部会・教科部会等を定期的に実施し</u>、計画的に推進する。 ② 「<u>小中一貫教育だより</u>」や「学校だより」等による情報発信に努め、保護者や地域への周知を図る。	B	【達成状況】 教職員と児童の肯定的回答は 95%を上回る達成状況だが、保護者の肯定的回答は目標値を 0.2%下回った。保護者への情報発信が弱かった。 【次年度の方針】 学校園での児童生徒の学力保障や学校生活適応を目指した連携実践を充実させ、「小中一貫教育だより」や「学校だより」等によって保護者や地域への周知を図る。
教育活動の状況	生 活	A11 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート A10「児童は時と場に応じたあいさつをしている。」 →保護者の肯定的回答 75%以上	① 毎月のクラスごとのあいさつ運動を継続実施することや、日常の指導を通して、あいさつの定着を推進する。 ・ 児童指導だよりでの啓発 ② 学級活動や道徳の時間において、あいさつの大切さについて指導し、適切な態度が習慣化できるよう指導を継続する。	B	【達成状況】 保護者の肯定的回答は 76.5%で、目標値を少し上回った。 ① 肯定的回答をみると、児童は昨年とほぼ同様、教職員は 95.7%と向上している。 ② 保護者や地域への協力を得ながら、今後も指導を継続していく必要がある。 【次年度の方針】 ① <u>あいさつ運動の内容・方法について検討し、指導の改善を図る。</u> ② 学級懇談会等において挨拶の大切さについて話したり、チェックリストを用いたりして、家庭との連携を図りながら、適切な態度が習慣化できるよう指導する。
		A12 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケート A11「児童は時と場に応じた言葉づかいをしている。」 →児童の肯定的回答 80%以上	「場に応じた言葉遣い」ができるよう指導の充実に努める。 誤った言葉づかいは、機会を逃さず同一步調で指導する。また、正しい言葉づかいを授業等においても具体的に教え、日常化するまで根気強く指導する。	B	【達成状況】 児童の肯定的解答は 83.6%で、目標値を上回った。 【次年度の方針】 誤った言葉遣いは、機会を逃さず同一步調で指導する。また、正しい言葉遣いを授業等においても具体的に教え、日常化するまで根気強く指導する。 ・ 職員室への入り方 ・ あいさつ、返事 ・ 敬語の使い方 ・ 授業中の話し方 ・ <u>児童同士の言葉遣い</u> など

健康・体力	A13 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート A12「児童は休み時間や放課後などに進んで運動している。」 →児童の肯定的回答85%以上	① 業間や昼休みには外に出て遊ぶことを推奨する。また、めあてをもって運動に取り組めるように、引き続き各種検定カードを有効活用することで、進んで運動する機会を増やしていく。 ② 元気っ子健康体力チェックやミニマムの結果を分析して児童の実態に合った運動を体育の授業の中に位置付けたりしていく。	B 【達成状況】 児童の肯定的回答は 90.3%で、目標値を上回った。しかし、保護者の肯定的回答は 64.0%と低い。 ① 各種検定カードを活用することで、多くの児童がめあてをもって進んで運動することができた。 ② 元気っ子健康体力チェックやミニマムの結果を分析し、補助・補強運動や柔軟運動を取り入れた。 【次年度の方針】 ① <u>業間や昼休みは外に出て遊ぶことを推奨する。</u>また、各種検定カードを今後も活用し、<u>めあてをもち進んで運動する機会を設けて、内容の充実を図る。</u> ② <u>うつのみや元気っ子チャレンジ、元気っ子健康体力チェックやミニマムを活用し、児童の実態に合った補助・補強運動を取り入れる。内容は河内学校園でも検討していく。</u>
	A14 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケート A13「児童は、好き嫌いなく給食を食べている。」 →児童の肯定的回答85%以上	① 食育だよりを定期的に発行するとともに、好き嫌いを減らせるよう、一人一人の状況に応じた指導を行う。 ② 栄養のバランスを意識して生活できるように、各種たより等により啓発し、家庭との連携を図る。	B 【達成状況】 児童の肯定的回答は 83.3%で、目標値を少し下回った。 ① 栄養士や養護教諭と担任が協力して、偏食や食事マナー等について指導した。食育だよりを定期的に発行するほか、掲示コーナーも活用して継続指導に努めた。 ② 給食週間での取組やお弁当の日の実施、地産地消にかかわる情報提供等により、食に関する意識の高まりが見られた。児童・保護者ともに、お弁当の日への関心が高く教育効果を上げている。 【次年度の方針】 ① 「嫌いだけど食べてみよう」という意欲をもてるような情報を発信していく。また、1口が2口、2口が3口というようなスモールステップでの指導を心がけるなど、一人一人の状況に応じた指導を継続する。 ② 各家庭で栄養のバランスを意識した食生活が送れるように各種たよりによる啓発活動を行う。

学 習	A15 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート A14「児童は、授業中に進んで話し合いわかりやすく発言するなど、積極的に学習している。」 →児童の肯定的回答 80%以上	① 指導目標を明確にし、「分かる授業」のために学習課題の提示方法を工夫したり、学び合い活動の場を意図的に取り入れたりする。 ② 児童一人一人の定着度を把握し、よさを認めた言葉かけやつまずきに応じた一人一人への支援をする。 ③ 授業中に話合いの場を意図的に設定し、理由などを含めて発表できるよう、発達の段階に応じて適切に指導する。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答は 94.8%で、目標値を上回った。 ① 学校課題に向けて協働体制で取り組んだ。全員で授業を見合い、よりよい授業を目指して協議を行ったが、指導案検討の機会が十分ではなかった。 ② 教師の見取りや自己評価、ノートの確認、小テストなどから形成的評価を行い、一人一人の定着度の把握に努めた。また、学習の成果に対して賞賛したり、児童の実態に応じた課題を与えたりして支援を行った。 ③ 授業中に話合いの場を設定し、理由などを含めて発表できるよう、発達の段階に応じて指導したが、言語事項全般に課題がみられた。 【次年度の方針】 ① 今後も継続して協働体制による研究を進め、授業力の向上を図る。<u>ノートの取り方について共通理解を図り、指導を継続する。</u> ② 様々な方法や観点からの評価により、一人一人の定着度を把握し、個に応じた指導を行う。 ③ <u>引き続き授業中に話合いの場を設定し、理由などを含めて発表できるよう、発達の段階に応じて指導するとともに、生活面、学習面の両面で、教師が言葉の意味や使い方を問いかけたり、説明したりする場面を多くし、児童の語彙力の拡充に努める。</u>
	A16 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート A15「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。」 →児童の肯定的回答 80%以上	学習のきまりについて共通理解し、指導を徹底する。 ・ 授業開始時や終了時の時刻の遵守・あいさつの励行 ・ 学習用具の確実な準備 ・ 授業中の姿勢や話を聞く態度の育成 ・ ノートのとり方・発表の仕方の指導・支援	B	【達成状況】 児童の肯定的回答は 86.9%で、目標値を上回った。 「学習のきまり」について共通理解し、基本的な学習態度や技能が定着してきた。定着の度合いについて個人差が大きい。 【次年度の方針】 <u>「学習のきまり」を普段の授業に生かし、定着を図る。</u>
	B1 心の教育を中心にすえた学習指導と特別活動を推進している。 【数値指標】 全体アンケート B1「わたしにはよいところがあると思う。」 →児童の肯定的回答 80%以上	学習指導や特別活動をとおして、自己肯定感を高める取り組みを継続して行う。また、体験活動の内容・方法等を検討し、児童のよさを積極的に評価する。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 87.0%で、目標値を上回った。 児童の活動の内容や方法の工夫により、主体的に活動している児童が増えた。 【次年度の方針】 引き続き、児童の活動の内容や方法の工夫を継続し、児童のよさを積極的に評価して、実践につなげる。

B2 異年齢の児童と触れ合い、体験する機会を作る。 【数値指標】 全体アンケート B2「私は、縦割り班活動が楽しかった。」(1～4年)「私は縦割り班活動で仲良く活動したり、下学年の面倒をみたりすることができた」(5, 6年) →児童の肯定的回答 85%以上	① 縦割り班活動を年間計画に位置付けるとともに、発達の段階に応じた役割遂行を通して、達成感を味わったり責任の自覚を高めたりできるよう支援する。(児童会活動・学校行事・清掃活動・地域学校園クリーン活動・給食など) ② 教科等における異年齢児童との活動の機会を積極的に取り入れ、学級・学年を越えた児童のかかわりが深まるような活動を充実させる。	B 【達成状況】 児童の肯定的割合は 93.7%で、目標値を上回った。 なかよし班活動時には、自己目標の設定と振り返りの時間を設定した。異年齢児童との交流活動を計画的に実施できた。 【次年度の方針】 ① 学級・学年を越えた児童のかかわりが深まるような活動を充実させ、社会性の育成を図る。(なかよし班の活動等) ② 生活、総合の時間等の交流活動がより効果的なものになるよう、学年間での打合せや引継を行い、計画的に実施する。
B3 ギネス活動を通して、児童の自主的な態度や協調性を育てる。 【数値指標】 全体アンケート B3「ギネス活動で、積極的に活動できた。」(1～4年)「ギネス活動で責任をもって自分の係の仕事を行うことができた。」(5・6年) →児童の肯定的な回答 90%以上	ギネス活動を充実させ、学校の活性化を図る。児童会活動として企画運営し、高学年がリーダーとして活動できるよう指導する。 ・ 全校挑戦ギネス (学級単位) ・ フリーで挑戦ギネス (個人)	B 【達成状況】 児童の肯定的回答は 95.1%で、目標値を上回った。 児童はギネス活動を楽しみにしており、意欲的に活動していた。内容・方法面で無理のあった名人ギネスを見直した。今後も課題について協議・検討し、計画的に改善していく必要がある。 【次年度の方針】 各ギネスの内容や特性に応じて、個人や学級の目標が達成できるよう工夫する。成果と課題を整理し、本校の特色ある活動として改善充実を図る。
B4 読書活動を推進し、豊かな心を育てる。 【数値指標】 全体アンケート B4「教職員は、読書の質の向上を目標に、読書活動に取り組んでいる。」 →教職員の肯定的回答 90%以上	① 読書活動を推進する。 ・ 読書貯金カードの活用 ・ 図書だよりの発行 ・ 読み聞かせの実施 ・ 学級文庫の設置の工夫 ・ 「おすすめの本」の紹介の励行 ・ 夏休みの親子読書の奨励 ・ 夏休み中の図書室開放 ・ 読書イベントの実施 等	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答は 100%で、目標値を上回った。 ① 読書に関連する活動やイベント等を行ったことで、児童の意欲・関心を高めることができた。図書館司書による読み聞かせや図書だよりの充実など、様々な手立てが有効に働き、児童の読書活動の質的な改善が図れた。 【次年度の方針】 ① <u>現行の取組の目的・効果について確認し、望ましい読書習慣の形成、更なる読書の質的向上につながるよう、様々な読書活動の工夫改善を図る。</u>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

全体アンケートの結果では、評価指標とした 20 項目中、17 項目で目標値を上回った。

学校運営の状況、教育活動の状況、本校の特色・課題等の各項目において、評価の数値指標は概ね達成されており、全体 (86 か所：質問項目 22 問、教職員、保護者、地域住民代表、児童がそれぞれ評価) のうち昨年度と比較して、肯定的回答の割合が増加した箇所は 42 か所 (約 49%)、減少した箇所は 30 か所 (約 35%) で、増加した箇所が減少した箇所を上回った。

○ 学校運営の状況 (評価項目：A 1～10)

- ・ 10 項目のうち、6 項目で保護者の肯定的回答の割合は 9 割を超えている。また、6 項目で昨年度より

肯定的回答の割合が増加した。中でも「A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。」の項目については、95.0%で4.4%上昇した。

また、「A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている」の項目については、昨年度は8.4%減少し82.6%だったが、今年度は85.0%で2.4%上昇した。

今後も、分かる授業と一人一人へのきめ細かな指導に取り組み、児童の学力向上に努めていきたい。

- ・ 「No.5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」の項目については、児童の肯定的回答の割合は98.1%、地域住民代表は100.0%と高いが、保護者の肯定的回答の割合は70.0%と相変わらず低い。今後も日常生活の中で、児童の問題行動の未然防止、早期発見・早期解決に努めるとともに、保護者へ「いじめへの取組」や「いじめアンケートの結果」の周知などを行っていききたい。

○ 教育活動の状況（評価項目：A 1 1～1 6）

- ・ 「A11 児童は進んであいさつをしている。」の項目については、教職員の肯定的回答の割合は95.7%で、昨年度より4.4%増加した。また、保護者の肯定的回答の割合は76.5%とまだ低い、昨年度より4.3%増加した。児童会を中心に毎月当番学年を決めて、全学年で「あいさつ運動」を実施したり、毎月1回「地域学校園のあいさつ運動」を実施したりすることで、進んで挨拶をする意識化を図っている。
- ・ 「A12 児童は、正しい言葉づかいをしている。」の項目については、教職員の肯定的回答の割合は82.6%で、昨年度より13.0%増加した。また、保護者の肯定的回答の割合は74.8%で、昨年度より2.2%増加した。時と場に応じたあいさつや言葉遣いができるよう、今後も、保護者や地域と連携しながら、指導の工夫に努めていきたい。
- ・ 「A13 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。」の項目については、保護者の肯定的回答の割合は低く64.0%で、昨年度より4.7%減少した。今後は、休み時間の遊び方を工夫したり、体育の時間に運動する楽しさを教えたりすることにより、体を動かすことに興味・関心を持ち、学校や家庭において、進んで運動に取り組む児童の育成に努めていきたい。

○ 本校の特色・課題等（評価項目：B 1～4）

- ・ 本校の特色である「B3 ギネス活動」は、教育活動として定着しており、95.1%の児童が積極的に活動できたと回答している。「B4 読書活動」は、保護者の肯定的回答の割合は68.1%と低く、昨年度より6.9%減少した。家庭でも読書を勧めたり、読書をする時間を作ったりするなど児童が本に親しむよう働きかけを行って頂くと共に、「家庭読書」の大切さも伝えていきたい。

6 学校関係者評価

○ 「A5 学校はいじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる。（保護者質問）」の項目について

- ・ 保護者への発信が足りないのではないか。取り組んでいることをうまく伝えとよい。
- ・ 事例を挙げて説明したほうが保護者も分かりやすいのではないか。
- ・ いじめについて地域で何かできないか、支えられないか考えている。大人に相談できる体制を作りたい。
- ・ ホームページを使って道徳の時間の取り組みなどを公開したり、スマートホンのラインの対処方法などを載せたりしてはどうか。

○ 「A11 児童は、進んであいさつをしている。」、「A12 児童は、正しい言葉づかいをしている。」の項目について

- ・ 登校時に声掛けをすると、あいさつが返ってくる。昔と比べるとあいさつができるようになっている。
- ・ 大きな声であいさつができている。言葉遣いは、成長とともに学んでいくのではないかな。
- ・ 4・5年生から敬語が使えるようになる。

○ 「A13 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。」の項目について

- ・ 外で遊んでいる子供を見かけない。
- ・ 地域クラブで健康づくり、コミュニティづくりをするとよい。

○ 「A14 家庭でも読書を勧めたり、読書をする時間をつくったりするなど、子供が本に親しむよう働きかけている。（保護者質問）」の項目について

- ・ ゲームをやっている、読書をする時間がないのではないかな。
- ・ 親は忙しく子供と一緒に読書をする時間が取れないのではないかな。
- ・ 岡本小の子供たちは本が好きなので、読書をするきっかけ、好きな本と出合えるきっかけをつくってあげるとよい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 目標を達成した項目については、今後も工夫・改善を加えながら継続して取り組み、学校としての重点を明確にし、具体的な方針を示す中で、全教職員の共通理解のもと目標達成に向けて努力していきたい。学校関係者の方からの御意見は、教職員の改善の励みとして捉え、目標に達しなかった項目に関して、再度、取組の方法を検討し改善を図っていききたい。
- ・ いじめに関しては、今後も日常生活の中で、児童の問題行動の予防、早期発見、早期解決に努めるとともに、教職員の取り組みが保護者に理解していただけるよう、「いじめへの取組」や「いじめアンケートの結果」について、「児童指導だより」で周知するとともに、学級懇談会等で伝えていきたい。
- 「あいさつや時と場に応じた言葉づかい」については、児童主体の「あいさつ運動強化週間」を実施すると共に、日常生活において教職員が積極的に児童にあいさつを呼びかけていく。また、河内地域学校園、地域協議会、PTAと連携・協力してあいさつ運動を展開することにより、児童の意識を高めていく。
- ・ 今後も各種たよりやホームページ等を通じて、家庭や地域への積極的な情報提供と情報発信に努め、本校の教育活動について理解を得るとともに、生活科や総合的な学習の時間に子供たちが地域に出て、地域住民とかかわりながら学習する機会を大切にし、家庭、地域の協力を得ながら一体となって子供たちを育ていきたい。
- ・ 児童に読書する習慣を身に付けさせるために、本を読む楽しさを教えるとともに、かけがえのない1冊との出会いを大切に、読書をするきっかけを学校や家庭で作れるよう働きかけていきたい。
- ・ 児童が積極的に授業に取り組めるよう、本時の授業のめあての提示と振り返りを確実にを行い、学習内容や発達の段階に応じてペア学習やグループ学習等の形態を取り入れ、児童同士が学び合う授業を展開していくとともに、ICTを効果的に活用した授業を行うことで、児童の思考力を深め分かる授業を展開していく。また、学年内、出授業関係、少人数指導、かがやきルームなど様々な場面で児童のがんばりを認める言葉かけをしていく。
- ・ 今後も、本校の教育目標である「自ら考え主体的に行動し、心豊かでたくましい児童の育成（かしこく やさしく たくましく）」を目指し、家庭・地域と連携・協力を図っていききたい。